

えーがや！いね！おまわ

今回から3カ月毎に、友好都市である愛知県小牧市に協力いただき、愛知県小牧市の魅力を発信します！



八雲町と小牧市の縁

明治11年、尾張徳川家第17代当主徳川慶勝公が北海道遊楽部原野の開墾を願ひ出るとともに、旧尾張藩主から八雲へ人々の移住を推進し、多くの愛知県出身者が八雲町へ入植しました。このような先代の縁がきっかけで八雲町と小牧市は友好都市となっています。

力が集まる「産業都市」

小牧市は、名古屋市の北方約15キロメートル、濃尾平野のほぼ中心に位置しています。また、名神高速道路・東名高速道路・中央自動車道の3大ハイウェイの結節点という立地条件にも恵まれ、製造業が盛んであるとともに県営名古屋空港を擁する産業交流都市として中部地方の中核都市に発展しています。

歴史舞台のまち

小牧市のシンボルである国指定史跡小牧山は、1563年に織田信長が初めて自らの手により、築城（小牧山城）した地として知られています。近年の発掘調査で石垣が確認され、江戸時代の天守閣を伴う城のルーツではないかと、専門家を中心に大きな話題となっています。



メイド・イン・こまき

日本3大地鶏の呼び声が高く、適度な歯ごたえと、旨みがあふれる名古屋コーチンが小牧が発祥です。小牧駅前には名古屋コーチンの発祥地のモニュメントが建ち、市内の商店では名古屋コーチンを使った商品を買うことができます。



また、桃の名産地でもあり、特に全国にも名高い「しのおかの桃」は逸品として知られています。

【問い合わせ先】

小牧市役所
☎0568-72-2101
(代表)

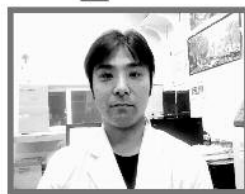


ちょっと

知ってね！総合病院

私たちの知識が、お役にたてれば嬉しいです

『レントゲン撮影について』



診療放射線技師
山本 和正

レントゲン写真と聞いて、ほとんどの方が思い浮かべるのは、「息を吸って、止めてください」と声をかけて撮影する肺のレントゲン写真を連想されるかと思いますが、撮影検査の種類は、一般撮影・CT・MRI・バリウム検査の時などに使用するX線透視装置・マンモ（乳房撮影）・X線骨密度・病室などで撮影をするポータブル撮影と様々な撮影検査があります。私たちは、どの撮影検査でも目的の位置や方向を合わせるために直接患者様に触れて撮影する部位を動かします。この作業を、ポジショニングといいます。

患者様は具合が悪かったり、痛みがあったりしますので、なるべく痛みを与えない様に工夫をして撮影しています。しかし、撮影検査をする時には撮影の部位、方向などを特定するため、痛いところに手を触れたり、苦しいのに色々と動かしたりすることもあります。

検査の際には、痛いのには動かしたりして、鬼のようにだと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、レントゲン撮影検査時のポジショニングに際しましては「ご理解、ご協力をお願いします」。